

5月20日から6月7日の3週間、母校にて教育実習を行った。生徒の様子として、1年生と3年生は全クラス非常に仲が良くクラス関係なく誰とでも関わりを持てるコミュニケーション力が高い生徒が多かった。2年生に関しては、やんちゃな生徒が多く、特に〇組に関しては先生たちが振り回されることもあり注意すべき生徒や元気すぎる生徒がいた。しかし、どの生徒も人懐っこく素直で、一生懸命に勉強も部活動にも取り組む姿を見て私ができる最大限のことを生徒に返していこうと思え、生徒のおかげで毎日明るく頑張れた実習であった。

ここからは実習中のできごとについて述べる。初めに、体育の授業である。私が持った授業は1年生のダンス・体づくり運動、2年生のダンス・サッカー、3年生のサッカー・卓球である。母校の体育は基本的に生徒主体なので、体づくり運動以外は私が教授する時間はほぼなく、自分たちで練習や試合進行を行っていた。私が行ったことは挨拶・出欠と健康観察・場の設定、大半は生徒との関わりの時間であった。私は、授業において絶対に1人1回以上生徒と話をしていたので生徒の顔と名前をすぐに覚えることができた。そして、研究授業を体づくり運動で行った。1年生〇組と〇組合同の生徒84人に対して様々な動きを通して体を動かすことの楽しさ・心地よさを仲間とシェアする内容で授業を行った。遊び要素を多く交えリラックスしてペアやグループで生徒同士が関わりを持てるよう工夫した。授業作りにあたって難しかった点は、私自身が体づくり運動の経験がないこと、大学で体づくり運動に触れていなかったことであり、指導案作成に苦戦した。しかし、生徒の良さである「誰とでも関わりを持ち楽しめる」ことからヒントを貰い、体を動かす中で気軽に話し合い動きの難しさなどの解決に向けた活動を並行させ、充実した授業を作ることができたと考える。また、大人数に対して授業を行った経験のおかげで伝わりやすい指示の出し方や生徒の動かし方も学ぶことができた。

次に、保健の授業である。元気な2年〇組で授業を行った。クラスの特性として、先生との関わりを遮断している子、面白くなければ友達と話をして授業に集中しない子などがいた。事前に情報を聞いていたので、要注意生徒は体育の授業や休み時間に積極的に話をし、関わりやすい関係性を築いた。また、行った単元が結婚や健康づくりに関する内容であったため、高校生が興味を持てる恋愛話や結婚観について話し合う活動、授業中眠そうな生徒のため健康づくりに関するストレッチを行うなど関心を向けさせる工夫をした。さらに、話すことが好きな子たちなので教室を自由に動いて話し合ってもいい条件と、重要な所は集中して一緒に頑張ろうという条件を伝え授業を行った。メリハリをつけることに苦戦したが、生徒同士での話し合いをこぼさず、クラス全体で共有し褒めることなどで自然と生徒が自信をもって考え、話を聞いてくれるようになったのではないかと感じる。

次に、部活動である。所属していた女子サッカー部で指導と練習を行った。練習は毎日あり、土日も大会や練習に参加した。活動内容は生徒がメニューを考え自分たちで進める形で、互いにコミュニケーションを取りながら円滑に進めていた。大会決勝のベンチでサポートを行った際には、選手や補欠の選手、顧問の先生との関わりの中で多くの気づきを得た。特に、思春期特有の女子生徒の悩みに沿ったメンタルケアや体調管理のマネジメントの重要性を学び、貴重な経験となった。

最後に実習を通して、常に先生や生徒と関わりを持つことで授業を作る上でのヒントを得られること、生徒のためなら何事も頑張れることを知った。また、授業に関しては生徒と同じ目線に立って考えること、限られた授業時間の中でパターンを用意し臨機応変に展開することを学んだ。生徒と過ごす時間を多くとったことで様々な価値観や考えを得ることができ、自分自身を成長させた。価値のある時間になり、より一層母校の県で教員になりたいと思え

た素晴らしい実習であった。